

第19回教育委員会

平成29年 8 月 9 日
午 後 2 時 3 0 分
本庁舎屋上会議室

議 案

議案第107号 平成30年度使用教科用図書の採択について（小学校）

議案第107号

平成30年度使用小学校教科用図書の採択について

大阪市立小学校における平成30年度使用教科用図書について、「執行機関の附属機関に関する条例」に基づき設置された大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会（以下「教科用図書選定委員会」という。）の厳正かつ公正な調査・研究を経た答申を参照し、審議の結果、採択する。

(参考資料1)

平成30年度使用教科書
見本本発行者別一覧

平成30年度使用教科書小学校用見本本発行者別一覧

(「特別の教科 道徳」)

発行者 の番号	発行者の略称	発行者
2	東書	東京書籍株式会社
11	学図	学校図書株式会社
17	教出	教育出版株式会社
38	光村	光村図書出版株式会社
116	日文	日本文教出版株式会社
208	光文	株式会社光文書院
224	学研	株式会社学研教育みらい
232	廣あかつき	廣済堂あかつき株式会社

(参考資料 2)

平成 30 年度使用教科用図書

調 査 の 観 点

(小 学 校 用)

平成 29 年 6 月

大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

専門調査会ならびに学校調査会における留意事項

大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

平成 30 年度使用教科用図書の選定に関する研究調査にあたって、専門調査会ならびに学校調査会は、その事業内容をよく理解し、適正かつ公正な調査に努める。そのためには、次の「調査の基本的態度」「調査員の資格要件及び責務」「調査の観点」に十分留意し、その責務を全うされたい。

1. 調査の基本的態度

- (1) 子どもの最善の利益を第一とし、子どもが学力を身に付け、健やかに成長していけることをめざし、「教育基本法」「学校教育法」「学習指導要領」ならびに「大阪市教育局基本条例」「大阪市立学校活性化条例」「大阪市教育振興基本計画」に示された基本的な目標に基づいて調査及び研究をすること。

めざすべき目標像

全ての子どもたちが学力を身に付けながら健やかに成長し、自立した個人として自己を確立し、他者とともに次代の社会を担うようになることをめざします。

そのために、社会が多様化し激しく変化する中で、国際化の進展や未曾有の災害の発生等に立ち向かう「生き抜く力」を備え、未来を切り拓く心豊かな子どもたちをはぐくむようにします。

基本となる考え方

- ・個人としての尊厳を重んじ、その意見を尊重するとともに、自由と規範意識、権利と義務を重んじ、自己の判断と責任で道を切り拓き、真理と正義を求め、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備え、グローバル化が進む国際社会においても強く「生き抜く力」を備えた子どもたちをはぐくむこと
- ・子どもたちが、我が国と郷土の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた国と、自らが育ったこの大阪を愛し、大阪にふさわしい新しい文化の創造をめざすようになること

(平成 29 年「大阪市教育振興基本計画」より)

(2) 大阪市の教育施策との関連性に基づいて研究調査をすること。

○ 2つの最重要目標

- (1) 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現
- (2) 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

○ 2つの「最重要目標」を達成するために重点的に取り組むべき施策

(1) 全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上

- ・幼児教育カリキュラムの浸透と実践 等

(2) 安全で安心できる学校、教育環境の実現

- ・基盤としての学校安心ルール
- ・いじめ・暴力行為等防止対策
- ・不登校・児童虐待等防止対策
- ・「防災・減災教育」の進化 等

(3) 道徳心・社会性の育成

- ・道徳教育の推進
- ・キャリア教育の充実
- ・インクルーシブ教育システムの充実と推進

(4) 国際社会において生き抜く力の育成

- ・英語イノベーション
- ・ICTを活用した教育の推進
- ・プログラミング教育の推進
- ・多文化共生教育の推進 等

(5) 子ども一人一人の状況に応じた学力向上への取組

- ・学力の向上
- ・「主体的・対話的で深い学び」の推進 等

(6) 健康や体力を保持増進する力の育成

- ・食育の推進 等

(7) 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援

- ・学校図書館、地域図書館の充実
- ・大阪の歴史・現状・文化についての学習
- ・家庭教育に関する情報提供と学習機会の提供
- ・産業界との連携
- ・地域・区域における生涯学習推進と学校園とのネットワーク 等

(8) 施策を実現するための仕組みの推進

- ・小中一貫教育の充実 等

2. 調査員の資格要件及び責務

(1) 調査員の資格要件は、次のとおりとする。

各調査会において、教科用図書の採択に直接利害を有する者は、調査員になることができない。教科用図書の採択に利害関係を有する者とは、特定の教科用図書が採択されることにより直接に利益または損害を受ける者であり、例えば次に掲げる者をいう。

- ア 教科書発行者の役員及び従業員並びにこれらの配偶者及び三親等内の親族
 - イ 顧問、参与、嘱託等いかなる名称によるを問わず、事実上教科書発行者の事業の運営に重要な影響力を有している者
 - ウ 教科書及び教師用指導書の著作・編集者（事実上、著作・編集に参加し、又は協力した者を含む）
 - エ ウの著作・編集者が団体である場合は、当該団体の役員及びこれに準ずる者
 - オ 教科書の供給の事業を行う者及びこれに準ずる者
- ※ 教科書採択に直接の利害関係を有しないまでも、教科書発行者から個別に協力的ないしは意見聴取の依頼を受け、著作・編集活動に一定の関与を行うなど、特定の教科書発行者と関係を有する者を、調査員等として選任することは適当ではない。

(2) 調査員は次の責務を負う

- ア 教科用図書の選定に関する事業内容を理解して、適正かつ公正な調査及び研究を行い、調査の経過及び結果を教科用図書選定委員会に報告しなければならない。
- イ 職務上知りえた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。
- ウ 調査員としての良識と自覚の上に立って、公正確保に留意し、いかなる疑惑をも招くことのないようにしなければならない。

「特別の教科 道徳」選定基準

項目	観 点
1 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点	① 個人としての尊厳を重んじ、その意見を尊重するよう配慮されているか。 ② 自由と規範意識、権利と義務を重んじる態度の育成に配慮されているか。 ③ 自己の判断と責任で道を切り拓くことができる能力の育成に配慮されているか。 ④ 真理と正義を求めることができるよう配慮されているか。 ⑤ 公共の精神を尊ぶことができるよう配慮されているか。 ⑥ 豊かな人間性と創造性を備えることができるよう配慮されているか。 ⑦ グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜くことができる能力の育成に配慮されているか。 ⑧ 我が国と郷土の伝統を尊重し、それらをはぐくんできた国と、子どもたちが育ったこの大阪を愛し、大阪にふさわしい新しい文化の創造をめざすことができるよう配慮されているか。 ⑨ 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現に配慮されているか。 ⑩ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上に配慮されているか。 ⑪ インクルーシブ教育システムの充実と推進に配慮されているか。 ※ 上記①～⑧は、「大阪市教育行政基本条例」前文および「大阪市教育振興基本計画」の「基本となる考え方」より列記しています。⑨・⑩は、「大阪市教育振興基本計画」の2つの「最重要目標」を挙げています。⑪は、「大阪市教育振興基本計画」の「重点的に取り組むべき施策」の1つです。
2 教育基本法に基づく観点	① 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことについて配慮されているか。 ② 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことについて配慮されているか。 ③ 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことについて配慮されているか。 ④ 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことについて配慮されているか。 ⑤ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことについて配慮されているか。

【小学校学習指導要領（総則より）】

- ① 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、平和で民主的な国家及び社会の形成者として、公共の精神を尊び、社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人の育成に資することとなるよう留意されているか。
- ② いじめの防止や安全の確保等にも資することとなるよう留意されているか。

【第3章 特別の教科 道徳 「第1 目標」に関して】

- ③ よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることに配慮されているか。

【第3章 特別の教科 道徳 「第2 内容」に関して】

- ④ 「A 主として自分自身に関すること」の育成に配慮されているか。
[善悪の判断、自律、自由と責任][正直、誠実][節度、節制][個性の伸長]
[希望と勇気、努力と強い意志][真理の探究]
- ⑤ 「B 主として人との関わりに関すること」の育成に配慮されているか。
[親切、思いやり][感謝][礼儀][友情、信頼][相互理解、寛容]
- ⑥ 「C 主として集団や社会との関わりに関すること」の育成に配慮されているか。
[規則の尊重][公正、公平、社会正義][勤労、公共の精神][家族愛、家庭生活の充実][よりよい学校生活、集団生活の充実][伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度][国際理解、国際親善]
- ⑦ 「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の育成に配慮されているか。
[生命の尊さ][自然愛護][感動、畏敬の念][よりよく生きる喜び]

【第3章 特別の教科 道徳 「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に関して】

- ⑧ 児童が自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう工夫されているか。また、道徳性を養うことの意義について、児童自らが考え、理解し、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されているか。
- ⑨ 児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動が充実しているか。
- ⑩ 児童の発達段階や特性等を考慮し、指導のねらいに即して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れられているか。
- ⑪ 児童の発達段階や特性等を考慮し、情報モラルに関する指導内容が充実しているか。

	⑫ 社会の持続可能な発展などの現代的な課題の取扱いに留意し、身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に寄与しようとする意欲や態度を育てられるものであるか。 ⑬ 児童の発達段階や特性、地域の実情等を考慮し、多様な教材として活用できるものであるか。 ⑭ 現代的な課題などを題材とし、児童が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような充実した教材であるか。 ⑮ 児童の発達段階に即し、ねらいを達成するのにふさわしいものであるか。 ⑯ 人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、児童が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるものであるか。 ⑰ 多様な見方や考え方のできる事柄を取り扱う場合には、特定の見方や考え方に偏った取扱いがなされていないものであるか。
4 外的要素に関する観点	① 製本が丈夫で、装丁が児童に親しみやすくできているか。文字の大きさ・フォント・行間などが適切で、印刷が鮮明であるか。 ② さし絵や写真などが鮮明で、色づかいが配慮されており、大きさや位置などが適切に配置されているか。 ③ ユニバーサルデザインに関して、障がいその他の特性の有無にかかわらず、児童にとって読みやすいものになっているか。
5 構成・配列に関する観点	① 発達段階を考慮して系統的に配列されているか。 ② 各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら、道徳科の年間指導計画を作成できるように配列されているか。 ③ 児童や学校の実態に応じ、2学年間を見通した重点的な指導や内容項目間の関連を密にした指導、一つの内容項目を複数の時間で扱う指導を取り入れるなどの工夫を行えるように配慮されているか。 ④ 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たし、計画的・発展的な指導を行えるように構成されているか。
6 資料その他に関する観点	① 資料は学習内容に応じて正確・適切に用意されているか。 ② さし絵・写真・図表などは、児童が興味をもち、学習意欲を引き出すよう工夫されているか。

(参考資料3)

平成 30 年度使用教科用図書

答 申 資 料

平成 29 年 7 月 21 日

大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

道 徳		東 書（東京書籍株式会社）
総 評		学校生活等の実生活に即した教材が多く配置され、児童が主体的に考え、学ぶことを通して、道徳的態度等を育成できるよう工夫されている。また、いじめの防止については、複数の時間にわたって、直接的、間接的教材を通して、いじめをしない、許さない心を育むことができる。さらに、振り返りページを活用して、児童の気づきや考えの変化を見取り、学期末の評価として生かせるよう工夫されている。
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ いじめの防止について、各学年で重点的に取り上げ、直接的教材と間接的教材を組み合わせながら学習することで児童が深く考えられるよう配慮されている。⑨ ○ 自由と責任において、例を挙げ、わかりやすく解説した後、問題場面を通して話し合い活動を行うことができるよう工夫されている。② ○ 登場人物が関西弁を使う教材がいくつかあり、児童が教材や大阪に親しみを持つことができる。⑧
	2 教育基本法	○ 我が国の文化の尊重や、国際平和に寄与してきた人物を通して、国際社会の発展に関わろうとする態度を養うことについて配慮されている。⑤
	3 学習指導要領	○ 物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方を深く考えられるように、タイトルと、わかりやすく表現された学習テーマが示されている。③ ○ 学習活動ページ「出会う・ふれ合う」に書き込む活動を取り入れ、他者とよりよく生きる力を育むよう工夫されている。⑨ ○ 人物の生き方を通して、児童の克己心や強い意志を育み、目標を持って取り組みを進めていこうとする態度を養えるよう配慮されている。④ ○ 内容項目「生命の尊さ」について、全学年に教材が複数配置され、指導時期も考慮されている。このことにより、効果的に生命を尊ぶ態度が養われ、よりよい生き方について考えが深まるよう、配慮されている。⑦ ○ 学習を振り返る機会を年 3 回設け、心に残った教材や自分の成長を振り返ることができるよう、工夫されている。振り返りの内容は、評価にも活用できるように配慮されている。⑧ ○ 問題解決的な学習について、関連教材を含め、発達段階を考慮し、主体的に道徳的实践について考えられるよう配慮されている。⑩ ○ 情報モラルに関する指導について、具体的な事例をあげながら、他の項目内容とも関連付けて指導できるよう配慮されている。⑪ ○ 葛藤、心の揺れを扱った教材を配置することにより、自分と重ねながら深く考えることができるよう工夫されている。⑬
	4 外的要素	○ 文字、挿絵・写真も大きさや色づかいに配慮されている。①②③
	5 構成・配列	○ 各教科と道徳教育との関連が巻末の付録に示されている。また、学校行事等との関係が考慮された教材が配列されている。②
	6 資料その他	○ 挿絵の絵柄が親しみやすく、写真・図表なども児童が興味を持つように工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例 等	○ 特になし。
	2 教育基本法	○ 特になし。
	3 学習指導要領	○ 設問が示されているが、自ら問題意識をもって考える学習を展開するにはやや配慮を要する。③⑧
	4 外的要素	○ 写真や挿絵の配置にややばらつきが見られる。②
	5 構成・配列	○ 低学年に吹き出しが多く、子どもの考えるところも書いているので、子どもの考えが狭められてしまうのではないかと。①
	6 資料その他	○ 教科書に書き込むところがやや少ない。①②

道 徳		学図（学校図書株式会社）
総 評		『読み物』と『活動』の2分冊にすることによって、児童が教材から主体的に課題を発見できるように工夫されている。また、事前に児童が『読み物』だけを読んでおき、授業では十分な時間を使って話し合いなどの学習指導をすることも可能である。さらに、いじめの防止に関しては、日常の場面や多様な視点から総合的にいじめに向き合い、ともに生きていこうとする心情を育むよう配慮されている。しかし、2分冊であることの課題もある。
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ いじめの防止については、「公正、公平、社会正義」等の内容項目で、いじめにつながる状況について考える教材が多数あり、児童の具体的な生活場面で、自分との関係において考えられるよう配慮されている。⑨ ○ 保護者向けページがあり、家庭との連携を図ることも考慮している。⑨ ○ パラリンピックやくらしの中のユニバーサルデザイン等の資料が配置され、インクルーシブ教育システムの充実・推進につながる。⑪
	2 教育基本法	○ 「生命の尊さ」について、児童が感動を覚える複数教材を設け、関連したコラムも合わせて学習することにより、生命を大切にする態度を養えるよう工夫されている。④
	3 学習指導要領	○ 分冊の『活動』については、道徳的価値に迫る問いかけが提示され、一人一人が考えたことや発見したことについて意見交換することを通して、多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深められるよう工夫されている。また、コラムが充実している。③ ○ 言語活動の充実のため、分冊の『活動』に、話し方、聞き方、話し合いの仕方が示され、児童が対話的な学習を行えるよう工夫されている。⑨ ○ 和太鼓づくりや法隆寺等に題材を求め、我が国の伝統と文化を尊重し、育んでいこうとするよう配慮されている。⑥ ○ 分冊の『読み物』は、発問等がなく教材文のみなので、児童が主体的に課題を見つけたり、指導者の裁量範囲を広げたりすることができる。⑧ ○ 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を行い、道徳的実践を主体的に行う意欲と態度が育めるよう配慮されている。⑩ ○ 学校行事等との関連に配慮して、学習指導要領の内容項目にある4つの視点がバランスよく配列されている。④⑤⑥⑦ ○ SNSの危険性等、情報モラルに関する指導内容が、自由と責任等の視点で考えられるよう工夫されている。⑪ ○ 教材に葛藤場面が多く、人間の弱さを共感しつつ、児童が生き方について深く考えることができるよう配慮されている。⑬
	4 外的要素	○ 全体的に挿絵が大きく見やすい。②
	5 構成・配列	○ 分冊の『活動』が内容項目ごとに見開きになっていて、児童の心の変容や学びの深まりが実感できるようになっている。③
	6 資料その他	○ 分冊になっているが、指導の流れがつかみやすく進めやすいよう工夫されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例 等	○ 大阪に触れる内容はあまり取り上げられていない。⑧
	2 教育基本法	○ 特になし。
	3 学習指導要領	○ 分冊の利点を生かして考えを深め、判断し、表現する力を育むには配慮を要する。⑧⑨
	4 外的要素	○ 挿絵と文章が重なり、読むときに配慮を要する箇所がある。③
	5 構成・配列	○ 分冊の『読み物』に手引きのようなものがなく、分冊の『活動』も読む必要があるため、学習時間内に消化しきれない懸念もある。②
	6 資料その他	○ 分冊の『活動』に書き込む欄が広いところがあり、書いたり考えをまとめたりする活動の展開に配慮を要する。①

道 徳		教出（教育出版株式会社）
総 評		各教材の末尾にある「学びの手引き」を使って、主体的・対話的な学習展開で、新たな気づきや発見につなげることができるよう配慮されている。また、いじめの防止に関する教材については、各学年の発達段階に即した教材が配置されている。さらに、多様なスキルの育成に努め、実践につながるような工夫が見られる。一方、「学びの手引き」が具体的すぎて、多面的・多角的に考える学習指導を展開するためには、やや配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育局行政基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ いじめに関する教材では、児童が教材文や資料を読み、日常起こりうるトラブルを想起して、自分との関係において課題解決意識がもてるように工夫されている。⑨ ○ いじめの防止の観点で、安心して成長できる安全な社会に向けた資料が掲載されている。⑨ ○ 人物を扱う教材を通して、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上、何事にもくじけず、努力を惜しまない態度を育成できるよう工夫されている。⑩
	2 教育基本法	○ 日本の伝統的な行事や文化、オリンピックやパラリンピックなどを取り上げ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮されている。⑤
	3 学習指導要領	○ 日本の伝統的なものや日本人が広めたものなどを取り上げ、我が国の良さを感じ、郷土を愛することができるよう配慮されている。⑥ ○ 世界のあいさつや給食、世界的に活躍する人物を取り上げ、世界の文化に触れ、国際社会に対する興味関心が持てるよう配慮されている。⑥ ○ 導入部分では、どの価値について学習するか提示した上で、学びの手引きが示され、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。⑧ ○ 振り返りページを設け、自らを振り返って成長を実感したり、これからの目標や課題を見つけたりできるよう工夫されている。⑧ ○ 問題解決的な学習やロールプレイングなど体験的な学習を通して、考えを深めることができるよう配慮されている。⑩ ○ 電話やインターネットやメールのメッセージのやり取りを取り上げて、発達段階に応じて情報モラルを考えられるよう配慮されている。⑪ ○ 認知症など現代的な課題を題材とした教材では、自分との関係において、解決に寄与しようとする意欲・態度が育つよう工夫されている。⑫
	4 外的要素	○ 文字、挿絵・写真も大きさや色づかいに配慮されている。①②③
	5 構成・配列	○ 同じ内容項目の資料を連続して配列をしているところもあり、重点主題教材や内容項目間の関連が明確にされている。① ○ 一つの内容項目を複数の時間扱えるよう補充教材が用意されている。②
	6 資料その他	○ 児童に身近な動物や人物が取り扱われている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局行政基本条例 等	○ 低学年では、国際理解に関することの取り上げが少ない。⑦
	2 教育基本法	○ 特になし。
	3 学習指導要領	○ いじめを題材にした教材の中に、内容が具体的すぎて学級の実態に応じた配慮が必要なものがある。② ○ 「学びの手引き」が具体的すぎて、多面的・多角的に考える学習指導を展開するためには、やや配慮を要する。③
	4 外的要素	○ 特になし。
	5 構成・配列	○ 単元の始まりが左ページの場合がある。①
	6 資料その他	○ 教科書に書き込むところがやや少ない。①②

道 徳		光村（光村図書出版株式会社）
総 評		導入、教材、手引きの構成で1時間の授業を展開できるよう、手引きに、道徳的価値について考えを深め、自分の生き方を考えさせる発問があるので、学習指導を進めやすい。また、「つなげよう」では、他の教科や日々の生活へと広がるよう工夫されている。さらに、教材とコラムを組み合わせ、「いじめをしない、させない、見過ごさない」が系統的に指導できるよう配慮されている。しかし、文字がやや小さく、長文が多いので配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ いじめの防止に向けて、いじめに直接結びつく題材とコラムとを組み合わせ、まとまりのある1つの教材として設定し、互いを認め合う心やいじめを許さない心を育てるよう工夫されている。⑨ ○ 「いじめをしない、させない、見過ごさない」が系統的に指導できるよう配慮されている。⑨ ○ 点字ブロック等の具体的な資料を取り上げ、インクルーシブ教育システムの充実と推進に配慮されている。⑪
	2 教育基本法	○ 我が国の伝統や国際親善等を取り上げ、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことについて配慮されている。⑤
	3 学習指導要領	○ 教材の末尾にある「考えよう」では、学習のめあてを明らかにし、道徳的な問題を問うことで、道徳的価値を深めることができるように工夫されている。③ ○ 世界の伝統と文化を取り上げ、異文化を理解し、国際社会で力強く生き抜くことができる能力の育成に配慮している。⑥ ○ 食べ物の紹介をすることで、異文化を理解し、世界の人たちと協力し合うことの価値が実感できるよう工夫されている。⑥ ○ 「生命の尊さ」について、複数教材を配置し、生命の大切さや生きることのすばらしさについて考えが深まるよう工夫されている。⑦ ○ 「つなげよう」では、学習後に、各教科や、次の行動につながるよう工夫されている。また、学習のまとまりごとに「学びの記録」が設けられ、自分の学びや成長を振り返られるよう工夫されている。⑧
	4 外的要素	○ 判型が、B5 判で低学年でも持ちやすい。また、必要最低限の挿絵・写真でまとめ、シンプルで見やすい。① ○ 挿絵・写真の大きさや色づかいに配慮されている。② ○ 漫画教材を取り入れ、視覚的にわかりやすい工夫をしている。③
	5 構成・配列	○ 児童の1年の成長を考慮して、学習のまとまりを4つに分けているので、1年間を見通せる構成になっている。① ○ いじめの防止や情報教育など現代の課題に対し、コラムと資料をひとまとまりにしてユニットを組んで学習できるよう工夫している。③
	6 資料その他	○ 身近な動物や生活場面、タレント・声優のメッセージ等が取り扱われ、児童が興味をもち、学習意欲を引き出すよう工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例 等	○ 大阪に触れる内容はあまり取り上げられていない。⑧
	2 教育基本法	○ 特になし。
	3 学習指導要領	○ 「考えよう」「つなげよう」に観点が示されているが、自ら問題意識をもって考える学習展開をするにはやや配慮を要する。③⑧ ○ いじめを題材にした教材に長いものがあり、配慮を要する。②
	4 外的要素	○ A4 判より小さいため、文字が小さく、書き込みスペースも狭い。① ○ 目次で学習指導要領の4つの内容が色分けされていない。②
	5 構成・配列	○ 長文が多く、低学年にとって理解や時間配分の面で配慮を要する。①
	6 資料その他	○ 図表に古いものがあり、現在との相違点を考える必要がある。②

道 徳		日 文（日本文教出版株式会社）
総 評		文科省作成の教材や学校生活を題材とした教材等、多様な教材を配置し、児童が読み取りやすいよう配慮されている。また、「気づく」「考える」「見つめる」の指導過程や、発問例が示され、児童が主体的に学習できるよう工夫されている。さらに、指導のねらいに即して、「問題解決的な学習」「道徳的行為に関する体験的な学習」を適切に取り入れており、効果的に多様な学びを実現することができる。
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ いじめの防止については、いじめの事象を直接扱う教材だけでなく、「相互理解、寛容」や「友情、信頼」「生命の尊さ」などの内容項目を扱う間接的教材を組み合わせている。⑨ ○ 各学年で重点的に指導できるように、複数の教材を集中的に扱う構成にすることで、いじめをしない、許さないという心情や態度を養う工夫がされている。⑨ ○ 国際社会で生き抜く力を育むことができるように教材を配列し、世界的視野をもつことができるよう工夫されている。⑦
	2 教育基本法	○ 我が国と郷土の伝統を尊重し、それを引き続き発展させていこうとする態度が育成できるよう工夫されている。⑤
	3 学習指導要領	○ 分冊の『道徳ノート』の活用が児童の道徳性の成長の記録となり、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮されている。③ ○ 「心のベンチ」のページには、教材と関連した内容や活動が示されていて、より深い学びができるよう工夫されている。⑨ ○ 分冊の『道徳ノート』を活用することで、自分の考えを基に話し合ったり、書いたりするなどの言語活動の充実ができるよう工夫されている。⑨ ○ 冒頭に導入のための発問例やあらすじ、主な登場人物が紹介されていて、児童が学習のめあてをもち、資料に対して見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。⑧ ○ 体験的な学習や問題解決的な学習に適した教材には、学習の手引きを設け、ペアトークやグループトークの学習形態が示されていて、主体的・対話的な学びが実現できるよう工夫されている。⑩ ○ 情報モラルチェックシートなど、情報モラルについて段階的に学ぶことができるように工夫されている。⑪
	4 外的要素	○ 文字、挿絵・写真の大きさや色づかいが配慮され読みやすい。①②③
	5 構成・配列	○ 発達段階、生活目標や学校行事、他教科の学習内容を考慮して構成・配列されている。② ○ 重点主題教材や内容項目間の関連が明確にされている。③
	6 資料その他	○ 写真が多く、実生活に即しており、自分のこととして考えやすい。① ○ 児童に身近なアニメのキャラクターや人物が取り扱われている。②
	特に工夫・配慮を要する点	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例 等	○ 特になし。
	2 教育基本法	○ 特になし。
	3 学習指導要領	○ 分冊の『道徳ノート』は書き込むところが多いため、書く活動に時間がかかる可能性があり、話し合っって考えを深める活動を確保するための配慮を要する。⑨
	4 外的要素	○ イラストと文字が少し重なり、読むときに配慮を要する箇所がある。③
	5 構成・配列	○ 低学年の分冊の『道徳ノート』にはマス目があり、児童は書きやすいが、文字数の制約など配慮を要する。①
	6 資料その他	○ 特になし。

平成 30 年度使用教科用図書 答申資料

道 徳		光文（株式会社光文書院）
総 評		「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」の展開で構成され、授業の流れがよくわかるよう工夫されている。また、各学校で内容項目の重点化を図れるよう 35 時間以上の教材を用意し、年間計画を柔軟に立てられるよう配慮されている。さらに、巻末の「学びの足あと」では、児童が授業で思ったこと、考えたことを書き、評価にも活用できる。しかし、脚注部に発問や吹き出しなどの問いかけが多く、学習展開に配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ いじめの防止については、複数教材を取り入れ、児童が深く考えられるよう工夫している。⑨ ○ 直接的、間接的な教材を取り入れ、いじめの防止を児童自身の問題としてとらえられるよう配慮されている。⑨ ○ 発達段階に合った教材を取り上げ、児童が他国に興味・関心をもち、グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜くことができる能力の育成に配慮されている。⑦
	2 教育基本法	○ スポーツなど身近なことを取り上げ、我が国を愛し、他国を尊重する心情を育てる工夫がされている。⑤
	3 学習指導要領	○ 教材が「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」で構成されていて、児童が考えを深め、判断し、表現する力が育まれるよう工夫されている。⑨⑩ ○ 「生命の尊重」について、児童がより深く考えるための教材が工夫されている。⑦ ○ 「学びの足あと」に学習したことの振り返りを記入することで、自分の成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりできるよう工夫されている。⑧ ○ 他教科や学校生活、家庭生活、地域社会などへのつながりをもたせ広げていくヒントが示されている。⑬ ○ 情報モラルに関する教材は、インターネットやスマートフォンの使い方を取り上げていて、児童の実生活に適しており、発達段階や特性等に考慮されている。また、コラムを取り入れ、情報社会で適正な行動や態度について考える工夫がされている。⑪
	4 外的要素	○ 冊子の判型が大きく、文字も大きめで、読みやすい。① ○ 挿絵・写真も大きさや色づかいに配慮されている。②
	5 構成・配列	○ 他教科の学習や伝統的行事と関連づけた教材の配列がされている。② ○ 重点主題教材や内容項目の関連が目次で色分けされ、明確である。③ ○ 「広げる」では、道徳の学習で学んだことを他教科や学校生活へつなげるよう工夫されている。④
	6 資料その他	○ 児童に身近なアニメのキャラクターや人物を取り扱い、学習意欲を引き出すように工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例 等	○ 大阪に触れる内容はあまり取り上げられていない。⑧
	2 教育基本法	○ 特になし。
	3 学習指導要領	○ 脚注部や教材文の後ろに観点が示されているが、自ら問題意識をもって考える学習を展開するためにはやや配慮を要する。③⑧
	4 外的要素	○ 判型が大きく、やや分厚くて重い。①③ ○ 教材ごとに字体や文字の大きさが違って読みにくい。①
	5 構成・配列	○ 脚注部の「吹き出し」に発問らしきものが多いが、子どもや指導者が混乱する恐れがある。①
	6 資料その他	○ 教科書に書き込むところがやや少ない。①②

道 徳		学研（株式会社学研教育みらい）
総 評		「考え、議論する」道徳を進めるため、他者の意見をもとに、多面的・多角的に道徳的価値を考えられるよう工夫されている。また、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」等の展開ができるよう工夫されている。さらに、いじめの防止については、関連する内容項目について多様な教材を配列し、全体として、「いじめを許さない」心情を育むよう配慮されている。しかし、判型が大きい点や、教材冒頭に主題の記載がない点について配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育局行政基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ いじめの防止について重点テーマを設定し、直接的ないじめの表現ではなく、間接的教材を配列するとともに、日常起こりうる問題を取り上げた資料も活用して、生活につなげていけるよう工夫されている。⑨ ○ 著名なスポーツ選手を取り上げ、努力の大切さや、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための体力の向上につながるよう工夫されている。⑩ ○ 高学年では、インクルーシブの観点から見て内容が充実している。⑪
	2 教育基本法	○ 「生命の尊さ」について、児童の発達段階に応じた生命の教育に関する特集のページと合わせて学習することにより、生命の尊さについての考えを深められるよう工夫されている。④
	3 学習指導要領	○ 児童の問題意識を大切にしながら、教材の末尾にある「考えよう」等で児童一人一人が自己を見つめ、自分の生き方について考えを深められるよう配慮されている。③ ○ 「生命の尊さ」を重んじる教材を複数時間連続して取り扱える構成になっており、命の大切さをよりいっそう多面的に考える工夫がされている。⑦ ○ 国際理解、国際親善について教材の取扱いが充実している。⑥ ○ 本文を読む前の部分に主題（ねらい）を記載せず、自ら課題を見つける力を重視している。⑧ ○ 身近な話が多く使用されており、児童が自分自身に置き換えて考えることができるように工夫されている。⑧ ○ 「学びのページ」では、「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」を設け、多様な学習過程や深い学びのための工夫がある。⑩ ○ 情報モラルに関する資料が児童の実生活に適しており、発達の段階や特性等に配慮されている。⑪
	4 外的要素	○ 挿絵が、児童にとって親しみやすい柔らかいタッチのことが多い。①②③ ○ 文字、挿絵・写真も大きさや色づかいに配慮されている。①②③
	5 構成・配列	○ 裏表紙の内側に内容項目と他教科との関連が明確にされている。③
	6 資料その他	○ 児童に身近な動物や人物が取り扱われている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局行政基本条例 等	○ いじめの防止については、もう少し具体的な題材であってもよい。⑨
	2 教育基本法	○ 特になし。
	3 学習指導要領	○ 「考えよう」の欄に観点は示されているが、問題解決的な学習を展開するためにはやや配慮を要する。③⑩ ○ 葛藤場面のある資料がやや少なく感じる。⑩
	4 外的要素	○ 教科書の判型が大きい。①
	5 構成・配列	○ 児童が本文に出会う前に、主題（ねらい）が書かれていないため、学習指導の展開に配慮を要する。④
	6 資料その他	○ 写真・挿絵が大きく多い反面、高学年の教材としてはやや物足りないと感じる。②

道 徳		廣あかつき（廣済堂あかつき株式会社）
総 評		児童が主体的かつ対話的に学習できるよう、「考えよう 話し合おう」が設けられ、自分の生き方について深く考えられるよう工夫されている。また、全学年で「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊重」を重んじ、一貫性が示されている。さらに、心に残っている授業の記録を残すことができるよう工夫されており、考えの深まった道徳的価値を見取り、評価につなげることもできる。
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ いじめの防止については、直接的な教材は少ないが、「生命の尊さ」や他の内容項目と関連させて、日常起こりうる問題を場面設定した資料を通して、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。⑨ ○ 全学年において、先人の伝記や、様々なジャンルで活躍する人物が取り扱われている。⑩ ○ 高学年では、点字や段差のないように工夫されているバリアフリーの写真を掲載したり、車いすの少女を教材に取り上げたりして、インクルーシブ教育システムの充実・推進につなげることができる。⑪
	2 教育基本法	○ 児童の発達段階に応じた特集のページと合わせて学習することにより、「生命の尊さ」や「環境の保全」等について考えを深められるよう工夫されている。④
	3 学習指導要領	○ 教材文の末尾の「考えよう 話し合おう」の欄に、学習のめあて、教材をもとに考える問い、自己に照らして考える問いが示され、学んだ内容を一層広げられるよう配慮され、自己の生き方についての考えをより深められるよう工夫されている。③ ○ 分冊の『道徳ノート』の活用により、児童が多様な感じ方や考え方に触れ、考えを深め、表現する力を育むことができる。また、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動が充実している。⑨ ○ 多面的・多角的に考えながら課題解決に向けて話し合う「問題解決的な学習」を促す教材と、体験的な学習や役割演技などの表現活動を取り入れた「体験的な学習」を促す教材を、全学年に適切に配置し、児童の道徳的実践を主体的に行う意欲と態度を育めるよう工夫されている。⑩
	4 外的要素	○ 分冊の『道徳ノート』はマスがあって書きやすい。①②③ ○ 文字の大きさ、挿絵・写真の大きさが適切で、色づかいも見やすく、配慮されている。①②③ ○ 必要最低限の文・挿絵・写真でまとめられ、シンプルで見やすい。②
	5 構成・配列	○ 共通重点項目や、学年別重点項目を設け、教材を配列している。① ○ 定番的な道徳的教材を配置したり、同じ内容項目の教材を連続で学習できるよう構成したりし、児童の考えが深まる工夫がされている。③
	6 資料その他	○ 学習を振り返る分冊の『道徳ノート』があり、自らの道徳性の成長を実感したり、課題や目標を見つけたりできるよう工夫されている。① ○ 児童に身近なアニメのキャラクターや人物が取り扱われている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例 等	○ 国際理解、国際親善やグローバルの観点では、身近な国の扱いがやや弱い。⑦
	2 教育基本法	○ 特になし。
	3 学習指導要領	○ 「学習の道すじ」に考える観点は示されているが、自ら問題意識をもって考える学習展開をするには配慮を要する。③⑧ ○ 葛藤場面のある資料がやや少なく感じる。⑩
	4 外的要素	○ 文字数の関係か文字がやや小さく見える。①
	5 構成・配列	○ 名作・感動教材が多いが、学年により難しさを感じるものもある。②
	6 資料その他	○ 分冊の『道徳ノート』の記述量について、低学年の活用には配慮を要する。①

